

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2023No.322】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：グスタフ・マーラー

曲名：交響曲第5番嬰ハ短調

演奏：グスターボ・ドゥダメル指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55026>

2023年10月22日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



グスターボ・ドゥダメルが、健康上の理由で降板となったズービン・メータに代わり、マーラーの最も人気のある作品のひとつである交響曲第5番を指揮します。この曲は、弔い、憧れ、グロテスク、勝利といった、非常にアンビバレントな感情の世界を描いています。また、ミリツァ・ジョルジヴィッチによる新作も世界初演を迎えます。コンサートの幕開けには、1963年10月15日に開館したフィルハーモニーの60周年を記念して、ブラッハー《フィルハーモニー開幕のためのファンファーレ》が演奏されます。以上の他に下記が演奏されました。

ボリス・ブラッハー 《フィルハーモニー開幕のためのファンファーレ》

ミリツァ・ジョルジヴィッチ

《Mali svitac, ?estoko ozaren i prestravljen nesno?ljivom leptom

(眩しく照らされ、あまりの美しさに怯える小さな蛍)》

(財団法人ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団委嘱作品・初演)



今回は、スイッチングハブから DMR-UBZ1 への LAN ケーブルに LAN アキュライザーを装着した状態で、DMR-UBZ1 から Sonica DAC への送り出しで再生しました。ブラッハーの《フィルハーモニー開幕のためのファンファーレ》は、高所の客席のかた金管群によるファンファーレです。

ジョルジヴィッチの委嘱作品「眩しく照らされ、あまりの美しさに怯える小さな蛍」は現代曲です。

マーラーの交響曲第 5 番はお馴染みの曲で、ドゥダメルの気合いの入った指揮で進行します。

出だしのトランペットから始まり、輝かしい金管群、静かに流れる弦や木管、厚みのあるオーケストレーションなどが聴き取れます。ドゥダメルの気合いがオーケストラのメンバーに乗り移ったかのように、ドゥダメルの指揮に応じています。

終演後、観客のスタンディングオベーションに応じて、ドゥダメルが何度もステージに呼び出されました。まさに指揮者、オーケストラ団員、観客が一体となつての、所謂 Chemistry 状態が醸成されていましたが、スイッチングハブから DMR-UBZ1 への LAN ケーブルに LAN アキュライザーを装着した効果で、そのような熱気まで伝わってくるようでした。

以上